

電気代及びガス代の高騰分相当金額

(3) 県負担・補助率の考え方

・県補助率 1／2

(4) 類似事業の有無

・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	336	令和7年度分の光熱費高騰分に相当する金額に対する補助
合計	336	

決定額の考え方

財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

光熱費（電気・ガス料金）の高騰の影響を受ける女性自立支援施設等に対し、円滑な運営に支障が生じないように、光熱費の高騰分を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R 年度 実績	R 年度 目標	R 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

光熱費の高騰の影響を踏まえた緊急的支援であり、指標の設定はなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 3	光熱費(電気・ガス料金)は高騰しており、適切な施設運営のための支援が必要となっている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 女性自立支援施設等が適切に支援を受けられるよう、事業の周知を図る。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	